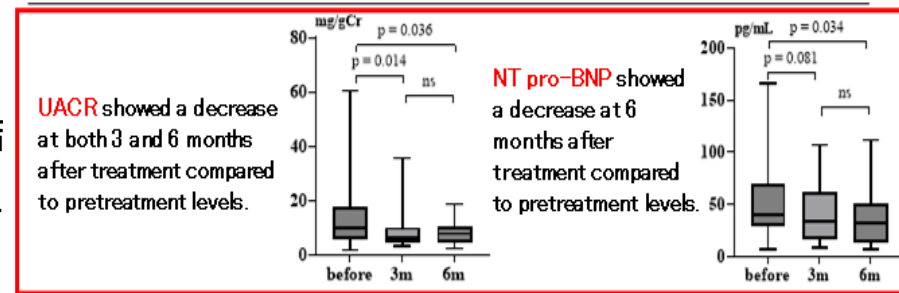


研究実績

Effects of esaxerenone on blood pressure, urinary albumin excretion, serum levels of NT-proBNP, and quality of life in patients with primary aldosteronism. *Hypertens Res.* 2024;47(1):157-167.

First author: 吉田雄一、担当学生: 藤原実桜

本学医学科4年生(当時) 藤原実桜さんの希望により研究室配属とは別途行った研究である。原発性アルドステロン症の内服治療はMR拮抗薬で行われる。日本でのみ使用可能なMR拮抗薬 エサキシレノンの効果を検討した。エサキシレノンは降圧効果に加えて尿中アルブミン排泄量やNT-proBNPを低下させた。この効果は塩分摂取量や降圧とは独立しており、エサキシレノンは直接臓器を保護する可能性が考えられた。

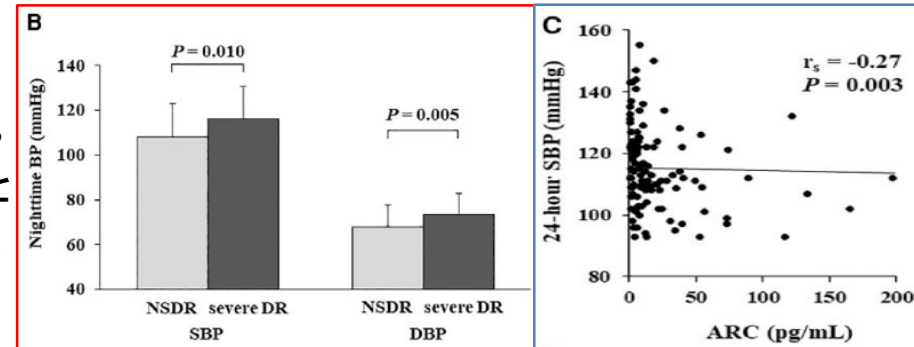


Reductions in SBP, DBP, UACR, and NT pro-BNP were independent of the effects of salt restriction.

Associations of diabetic retinopathy severity with high ambulatory blood pressure and suppressed plasma renin levels. *J Clin Endocrinol Metab.* 2023 Mar 21;13:859347.

First author: 佐田健太郎、吉田雄一(co-first)

当院眼科学講座の先生との共同研究である。糖尿病網膜症の重症と非重症患者に分けて24時間血圧を測定すると、重症網膜症患者の方が血圧が高いことがわかった。その機序として、血圧が高い方が活性型レニン濃度が低いことがわかり、重症糖尿病網膜症患者はミネラルコルチコイド受容体が過剰活性していることが原因と考えられた。



Pitfalls in the diagnosis and treatment of a hypertensive patient with unilateral primary aldosteronism and contralateral pheochromocytoma: a case report.

BMC Endocr Disord. 2023;23(1):44. First author: 宮本昇太郎、吉田雄一(co-first)

本症例は片側に原発性アルドステロン症があったものの治療できずに数年経過した後、反対の副腎に褐色細胞腫を認めた極めて珍しい症例である。

複数回の副腎静脈サンプリングを要し(放射線科)、治療方針について十分に検討した上実施し(腎臓外科・泌尿器科)、その組織について十分に検討を要した(診断病理学)、非常に難しい症例であった。



左: X年

右: X年から数年後

Recent progress in the diagnosis and treatment of primary aldosteronism.

Hypertens Res. 2023;46(7):1738-1744.

Author: 吉田雄一、柴田洋孝

Reviewとして発表した論文である。

原発性アルドステロン症の最近の診断や治療に関する報告をまとめた。診断として、近年日本で開発されたアルドステロン測定キットについて紹介した。内服治療として、新しいMR拮抗薬の効果やSGLT2阻害薬との併用による相乗効果について述べた。新しい治療として副腎腫瘍に対するラジオ波焼灼術や動脈塞栓術についてまとめた。

